※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０３

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　精選現代の国語　（第一学習社）						
副教材等	新演習　現代文アチーブ１　（桐原書店） チャレンジ常用漢字　（第一学習社） プレミアムカラー国語便覧　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

主体的に学び、深める態度を求めます。聞く・話す・読む・書く・調べる・考える・まとめる・表現する等の活動を通じてよりよく生きる力と意欲を養う時間にしていきましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指します。

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。 ・習得した知識を問題解決のために活用している。	・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元の学習内容</th><th rowspan="2">単元の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td rowspan="6">1学期</td><td>物事の捉え方</td><td rowspan="2">a：語句の量を増やし、語彙を豊かにしようとしている。
b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。
c：読書の意義と効用を理解し、実践する意欲を高めている。</td><td rowspan="2">定期考査
小テスト
ノート提出</td><td rowspan="2">発問評価
定期考査
課題の提出</td><td rowspan="2">授業態度
発表・レポート
振り返りシート</td></tr>
<tr><td>［教材］「本当の自分」幻想（平野啓一郎）</td></tr>
<tr><td>論理分析　具体と抽象</td><td rowspan="2">a：個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。
b[書]：説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。
c：論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして筆者の主張をまとめようとしている。</td><td rowspan="2">定期考査
小テスト
ノート提出</td><td rowspan="2">発問評価
定期考査
課題の提出</td><td rowspan="2">授業態度
発表・レポート
振り返りシート</td></tr>
<tr><td>［教材］日本語は世界をこのように捉える（小浜逸郎）</td></tr>
<tr><td>言葉と情報</td><td rowspan="2">a：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。
b[話／聞]：筆者の主張に従って具体例を話し合い、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。
c：言葉が認識や思考を支えることについて、他のテキストと進んで読み合わせ、説明の仕方を工夫して、理解したことを報告しようとしている。</td><td rowspan="2">定期考査
小テスト
ノート提出</td><td rowspan="2">発問評価
定期考査
課題の提出</td><td rowspan="2">授業態度
発表・レポート
振り返りシート</td></tr>
<tr><td>［教材］ものとことば（鈴木孝夫）</td></tr>
</table>

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
2学期	書いて伝える ［教材］社会に対する意見文を書く	a：文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b[書]：読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c：書いた意見文を進んで批評し合い、批評を踏まえて論理の展開や表現の仕方を工夫しようとしている。	レポート提出	レポート提出 発表 相互評価	授業態度 振り返りシート レポート提出
	科学と人間 ［教材］生と死が創るもの（柳澤桂子）	a：主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[話／聞]：目的や意図に応じて適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことをまとめて話している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：既習の評論と粘り強く読み比べ、共通して提起されている問題について対応策を考え、表現の仕方を工夫して文章にまとめようとしている。	定期考査 小テスト ノート提出	定期考査 発表 相互評価 課題の提出	授業態度 発表・レポート 振り返りシート
	社会と人間 ［教材］フェアな競争（内田樹）	a：推論の仕方について理解を深め、実際に使用している。 b[読]：文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 c：本文で示された哲学者の事績について粘り強く調べ、内容との関わりがわかるようにまとめようとしている。	定期考査 小テスト ノート提出	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表・レポート 振り返りシート
	話して伝える ［教材］合意形成のための話し合いを行う	a：話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解を深め使っている。 b[話／聞]：論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、話し合いによって結論を出そうとしている。	小テスト レポート提出	レポート提出 発表 相互評価	授業態度 振り返りシート レポート提出

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
3学期	現代と社会 ［教材］グローバリズムの「遠近感」（上田紀行）	a：推論の仕方について理解を深め、実際に使用している。 b[読]：文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 c：「『遠近感』をめぐる問題」について積極的に考え、学習課題に従ってまとめようとしている。	定期考査 小テスト ノート提出	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表・レポート 振り返りシート
	論理分析　推論 ［教材］AIは哲学できるか（森岡正博）	a：推論の仕方について理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：帰納法で推論する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	定期考査 小テスト ノート提出	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表・レポート 振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間